

理念・目標／アドミッション・ポリシー

■ 医学院の理念

世界をリードする先進的医学研究を推進し、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人を育てることにより、人類の健康と福祉に貢献します。

■ 医学院の教育、研究目標

本医学院は、医学・生命科学に関する高度な知識と研究能力を備え、社会の要請に応える高い見識を備えた人材を育成します。また、基幹総合大学として国際レベルの研究を推進し、知のフロンティアを切り拓き人類の福祉に貢献します。

■ アドミッション・ポリシー（求める学生像）

医学院では次のような学生を求めています

- ・生命現象の解明、疾病の克服、人類の健康の増進に向けて真摯に研究に取り組むことのできる人
- ・知的好奇心に富み、論理的な分析力、粘り強い行動力や協調性を有し、医学領域各分野において国際的なリーダーとして活躍できる人
- ・入学前に外国語（英語）の基礎的読解能力と作文能力を身に附けている人

挨拶

北海道大学大学院医学部修士課程は、医学部医学科以外の大学で学んできた学生に、最先端の基礎医学や社会医学、臨床医学の知識を学び、経験を積んでもらい、関連するさまざまな異分野の学問の融合を促進し、独創力と俯瞰的な視点を有した医系研究者および高度専門職業人を養成することを目的としています。

本医学院は、医系分野の広い領域における優れた教員を擁しており、医学のさまざまな領域において国際レベルの研究を進めております。基礎医学領域では、ヒト生体の生理と病理に関連する研究が遂行されており、特に脳やがん、免疫における先端的研究が積極的に展開されています。社会医学領域では、現代社会が直面する諸問題について、ヒトの集団としての疫学的見地からアプローチする研究が行われています。さらに、「公衆衛生学コース（Public Health Course）」では、国際的に認められている「公衆衛生修士号」を取得できる教育システムが導入されています。現在進行中の高齢化や過疎化を含む北海道独自の地域の諸課題に対応できる実働的な人材を社会へ送り出すために、医師、歯科医師、薬剤師などの医療職での実務経験を有した学生に対しては、1年で修了できる「1年コース」も設定されています。臨床医学の領域では、疾患の病因・病態解明および新規診断法・治療法の開発、特に医理工学を応用した最先端診断・治療機器の開発、高機能新素材を用いた新しい治療法の開発などの卓越した臨床研究が行われています。

本学院で最先端の医学研究を学ぶ学生は、優れた科学者の一員として、崇高な倫理観のもとで、創造性の高い知の実践や諸課題の解決に主体的に取り組み、社会からの要請に貢献することが求められています。これまで北海道大学大学院医学部は、入学した学生の期待に十分応える能力・システムを準備してきました。未来の医学および医療を支える大志のある学生諸君の入学を歓迎いたします。

令和5年4月



北海道大学大学院医学部長
畠山 鎮次
HATAKEYAMA Shigetsugu

医学院で学生の受け入れが可能な教室を紹介します。

(令和5年5月1日現在)

| 講 座 | 教 室 |
|-----------------|--|
| 【医科学 専攻】 | |
| 生理系 | 生化学 分子生物学** 解剖学 解剖発生学 生理学 細胞生理学 薬理学 神經薬理学 |
| 病理系 | 病理学 統合病理学 微生物学免疫学 免疫学 |
| 社会医学系 | 社会医学 衛生学 医療政策評価学** レギュラトリーサイエンス** ヘルスデータサイエンス |
| 内科系 | 内科学 呼吸器内科学 循環病態内科学 ★健康管理医学 放射線科学 放射線治療学 |
| 外科系 | 外科学 消化器外科学I 心臓血管外科学 侵襲制御医学 麻酔・周術期医学** |
| 専門医学系 | 機能再生医学 生殖・発達医学 感覚器病学 神經病態学 医生物学 免疫科学 癌病態学 |
| 連携医学系 | 分子生物学 免疫生物学 幹細胞生物学 分子生物学 分子神経免疫学 がん制御学 |

- * 連携分野
- ** 令和6年度の学生募集は予定していません
- 医学研究院所属の教員が担当しております
- 北海道大学病院所属の教員が担当しております
- ☆ 保健センター所属の教員が担当しております
- △ 遺伝子病制御研究所所属の教員が担当しております